



大潟村消防団大健闘

第二四回 全国消防操法大会

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

平成二十六年全国統一防火標語
もういいかい
火を消すまでは
まあだだよ



第二四回全国消防操法大会は一月八日(土)東京都江東区「東京臨海広域防災公園」において、全国四七都道府県からポンプ車の部と小型ポンプの部にそれぞれ二四消防団が

参加し開催されました。本県代表の大潟村消防団は、ポンプ車の部に出場、一五位と大健闘しました。操法指導者は、次のとおりです。指揮者の士気もよく、ホースラインはやや蛇行したものの、ブレ

幅一メートルの許容範囲なのではないかと感じた。特に、競技中に大きな失敗もなく、スムーズな操法だったと評価していました。残念だったのは、競技中に左足の肉離れを起こした選手がでてしまったことでした。目標とする側、される側のわずかな差が全国大会では大きく成績に影響してくると思われました。今後は、これまで以上にタイムと行動の要領のバランスを考慮した操法指導が必要になってくるのではないかと考えます。



激励あいさつ



■全国大会に出場して

指揮者 佐藤 友能

結果が全ての大会で、結果を残すことが出来ませんでした。応援に感謝致します。

一番員 椎川 健一

今回の大会では非常に悔しい思いをしました。この気持をバネに消防活動に励みます。

二番員 村上 直樹

不安と緊張でいつものとおり体が動かなくなったのが悔しく思いません。応援ありがとうございます。



■上位の成績



三番員 高木 茂之
出場出来た経験を、消防団活動に生かせるよう日々精進して参りたいと思います。
四番員 吉原 忍
全国大会は三度目の出場です。今後も全国に通用する操法を目指したいと思います。
補助員 菅野 正史
目標(優勝)を達成することが出来なかったのは、残念に思います。ご支援に感謝します。

ポンプ車の部

| 順位 | 都道府県名 | 消防団名 | 総合得点 | タイム(注) |
|-----|-------|---------|--------|---------|
| 優勝 | 長崎県 | 壱岐市消防団 | 184.5点 | 109.87秒 |
| 準優勝 | 神奈川県 | 座間市消防団 | 175.5点 | 109.55秒 |
| " | 鳥取県 | 江府町消防団 | 173.0点 | 110.28秒 |
| " | 長野県 | 富士見町消防団 | 173.0点 | 111.03秒 |
| 15位 | 秋田県 | 大潟村消防団 | 162.5点 | 115.95秒 |

(注)第1線と第2線の合計

小型ポンプの部

| 順位 | 都道府県名 | 消防団名 | 総合得点 | タイム |
|-----|-------|---------|-------|--------|
| 優勝 | 岡山県 | 岡山市消防団 | 91.0点 | 40.29秒 |
| 準優勝 | 兵庫県 | 福崎町消防団 | 91.0点 | 41.06秒 |
| " | 島根県 | 東出雲町消防団 | 90.5点 | 41.85秒 |
| " | 広島県 | 福山市消防団 | 90.0点 | 41.93秒 |

消防団員教育訓練について討議

平成二六年度全県消防団長研修会



平成二六年度全県消防団長研修会が二月四日(木)午後二時から、秋田市中通「イヤタカ」で消防団長、消防長ら六〇名が参加し、開催されました。

研修会は、昨年一月由利本荘市で発生した土砂災害での消防団活動の事例発表のほか、「秋田県の防災対策」、「消防団員確保と新時代に向けての活動」についての講演二題、そして、「消防学校における消防団員教育訓練」をテーマに課題討議・意見交換を行いました。

災害活動事例

「平成二五年一月二日に発生

した土砂災害での消防団活動」

発表者：由利本荘市消防団

団 長 周防 彦宗

発表項目

- 土砂災害の概要
- 災害発生までの経緯
- 土砂災害発生
 - ・安全管理
 - ・捜索方法
 - ・活動方針確立後
- 今後の課題

講演 (一)

「秋田県の防災対策について」

講 師：土田 元氏

秋田県総合防災課 政策監

講演の内容

- ・東日本大震災の教訓
- ・秋田県地域防災計画の見直し
- ・想定地震について
- ・津波関連データについて
- ・地域防災計画の主な見直し内容
- ・東日本大震災後の各市町村の津波への対応状況
- ・市町村防災行政無線について
- ・新しい情報伝達手段について
- ・東日本大震災を踏まえた備蓄等



講演 (二)

「共に守る仲間たち

〜消防団員確保と新時代に

向けての活動〜」

講 師：小澤 浩子氏

消防団員確保アドバイザー
東京都赤羽消防団 副団長

- のあり方の見直し結果
- ・広域防災拠点の整備
- ・避難勧告等の判断、伝達マニュアルの策定
- ・雪下ろし注意情報の発表基準、区域区分
- ・秋田県の火山対策について
- ・自主防災組織の強化



■講演の内容

- 今、見直される消防団
 - ・ 東日本大震災後に
 - ・ 節目を迎えた消防団
- 消防団員確保に向けて
 - ・ 現在の消防団の概況
 - ・ 消防団員の入団を阻む壁
- (社会環境の変化、価値観の変化、消防団への理解不足)
 - ・ 団員確保のための様々な取り組み
- (消防団員優遇制度)
- これからの消防団活動に向けて
 - ・ 女性消防団員の活動
 - ・ 今後さらに求められる消防団の活動



課題討議・意見交換

「消防学校における消防団員教育訓練について」

進行：秋田県総合防災課

副主幹 堀井 正人

説明：秋田消防学校

副校長 越後屋光晴

○これからの幹部教育について

○「消防団の装備の基準」の改正について

■テーマ1

消防学校で行う教育訓練基準の一部改正に伴う幹部教育への対応等について

来年度以降「現場指揮課程」は、受講時間が一四時間以上となるこ

とから、二日間と三日間の日程案を示した。

団長及び消防事務担当者から出された様々な意見を、今後の検討に反映させることとした。

■テーマ2

消防学校で行う消防団教育への各消防団の受講者の選考方法等について

消防学校で実施している、消防団員基礎教育と女性消防団員教育は、毎年受講者が少なく、懸念しているところである。

各消防団の実情や改善策についての意見も出されたので、今後の検討に反映させることとした。

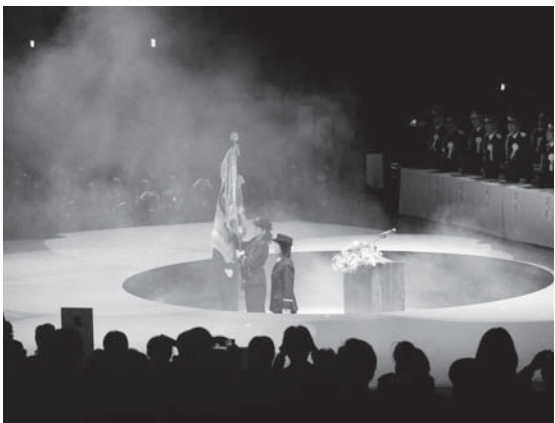
『平成27年出初め式(観閲)』の開催日時等

平成26年11月18日現在

| 消防団 | 日時 | 場所 |
|--------|----------------|------------------|
| 鹿角市 | 4日 11:00～ | 花輪大町・新町通り |
| 小坂町 | 4日 11:20～ | 康楽館前 (明治百年通り) |
| 大館市 | 4日 9:15～ | 大町中央通り |
| 北秋田市 | 4日 9:00～ | 北都銀行鷹巣支店前 |
| 上小阿仁村 | 4日 10:40～ | 上小阿仁村トレーニングセンター前 |
| 能代市 | (能代) 5日 9:15～ | 秋田銀行能代駅前支店前 |
| | (二ツ井) 5日 8:20～ | 北都銀行二ツ井支店前 |
| 藤里町 | 4日 9:45～ | 藤里町役場前 |
| 八峰町 | 5日 9:00～ | 旧八森町役場前 |
| 三種町 | 4日 9:30～ | 琴丘総合体育館駐車場 |
| 男鹿市 | 4日 13:00～ | 秋田銀行男鹿支店前 |
| 潟上市 | 4日 13:30～ | 天王総合体育館 (式典のみ) |
| 五城目町 | 4日 9:00～ | 朝市駐車場 |
| 八郎潟町 | 4日 13:30～ | 八郎潟町役場前 |
| 井川町 | 4日 10:00～ | 農村環境改善センター前 |
| 大潟村 | 6日 10:00～ | ふれあい健康館 (式典のみ) |
| 秋田市 | 4日 10:00～ | 山王けやき通り |
| 由利本荘市 | 5日 10:00～ | 由利本荘市役所前 |
| にかほ市 | 5日 13:30～ | 金浦体育館 (式典のみ) |
| 大仙市 | 5日 13:00～ | 大曲市民会館第2駐車場 |
| 仙北市 | 6日 11:50～ | 西明寺小学校校庭 |
| 美郷町 | 4日 14:30～ | 総合体育館リリオス前駐車場 |
| 横手市横手 | 6日 9:30～ | 横手体育館前駐車場 |
| 横手市増田 | 4日 13:10～ | 増田ふれあいプラザ駐車場 |
| 横手市平鹿 | 4日 13:00～ | 平鹿生涯学習センター前 |
| 横手市雄物川 | 5日 13:50～ | 雄物川体育館 |
| 横手市大森 | 4日 9:20～ | 大森庁舎前 |
| 横手市十文字 | 4日 13:10～ | 十文字幸福会館前 |
| 横手市山内 | 5日 9:15～ | 山内体育館前 |
| 横手市大雄 | 4日 10:15～ | 大雄庁舎前 |
| 湯沢市 | 5日 15:20～ | 湯沢文化会館 |
| 羽後町 | 5日 13:30～ | 総合体育館 (式典内で実施) |
| 東成瀬村 | 4日 14:00～ | 中学校体育館 (式典内で実施) |



第二〇回 全国女性団員活性化ちば大会
 来年度は佐賀県で開催



開会式 大会旗入場

「女性の力で地域を守るちばから全国へ地域防災の輪を広げよう」のテーマのもと、第二〇回全国女性消防団員活性化ちば大会が、一月四日(金)千葉県浦安市舞浜アンフィシアターを会場に全国から三八〇〇名が参加して開催されました。本県からも、これまで最高の五四名が参加しました。

ウエルカムコンサートに引き続き、大会旗がせり上がりで入場、開会式が行われました。

続いて、四団体による活動事例発表が行われ、アトラクションとして



次期開催地代表挨拶

千葉県内の伝統芸能が披露されました。

午後に入り、火災予防啓発劇の発表が四団体からありましたが、いずれの団体も完成度が非常に高いものでした。また、地元千葉市出身の市原悦子さん(女優・声優)による記念公演「朗読とお話の世界」は正に感動の一言でした。ディズニーのミッキー、ミニーの登場という予想せぬプレゼントもあり、会場内は大変な盛り上がりを見せておりました。

最後に次期開催地の佐賀県に大会旗が引き継がれ、本大会も無事終了、参加者の皆さんお疲れ様でした。

ちば大会プログラム

- ウエルカムコンサート
松戸市消防音楽隊
- 開 会 式
- 活動事例発表
南丹市消防団 (京都府)
多気町消防団 (三重県)
美咲町消防団 (岡山県)
八千代市消防団 (千葉県)
- アトラクション
千葉県内伝統芸能
- 火災予防啓発劇
宮崎市消防団 (宮崎県)
富山市消防団 (富山県)
横浜市泉消防団 (神奈川県)
松伏町消防団 (埼玉県)
- 記 念 講 演
市原悦子 (女優・声優)
- 閉 会 式
大会宣言
お礼の言葉
大会旗引き継ぎ
次期開催地あいさつ



宮崎県宮崎市消防団



富山県富山消防団



神奈川県横浜市泉消防団



埼玉県松伏町消防団



全国女性消防団員
活性化大会参加者からの
メッセージ

にかほ市消防団 齋藤 晶子

「千葉県浦安市」周辺はメルヘンチックな夢の世界。その一角での開催とあり趣向を凝らした演出等に、気持が高揚し感激しました。今回の全国女性消防団員活性化大会へ参加できましたことに感謝申し上げます。

各種発表は、各地で奮闘している同士の活動に感心させられたり、直ぐに我が団でも取り入れたらと思う内容もあつたりと、多々吸収することがありました。

記念公演でゲストとして出演した、女優「市原悦子さん」。幼い頃



情報交流会の会場①

から「日本昔ばなし」の語り役として馴染みの方です。自らのエピソード、詩の朗読などの語りぶりが心の中にスッと染み込み、温かな感情に包まれ、大変感動しました。

情報交流会では、懐かしく再会を喜びあつた方、先輩からのアドバイス、近々女性消防団同士の交流を約束した方等々、たくさん親睦を深め有意義な時間を過ごすことができました。

今回の大会が、自分達の現在の活動にプラスとなり、拡充の可能性を見つけるきっかけになると思えます。今大会を企画してくれた関係者の皆様、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

にかほ市消防団 今野 裕子

今回初めて他県で開催する活性化大会に参加させて頂きました。大会が始まって以来の参加団員の多さだそう、規模の大きさに驚きました。

活動発表、啓発劇・・・様々な方法で地域の方々と接し、防火活動の様子は、とても興味深く、あつという間に時間が過ぎました。また、女優市原悦子さんのお話と朗読では、言葉の強さを知り「伝える」ということは、こういう事なのかと、とても感動しました。

この大会で得た情報や、知り合う事が出来た仲間を、これからの活動

の励み、参考にして、今後も頑張っていこうと思えます。

にかほ市消防団 新田 まゆみ

ちば大会に参加させて頂きありがとうございました。

活動事例発表では、ケーブルテレビを活用したり、また、火災予防啓発劇では、老人にも分かりやすく楽しく参加出来るように水戸黄門を登場させたり、避難訓練をテーマにして災害時の対応等、家族や地域での協力の大切さを、各消防団が各地域にある物を利用して活動していました。

これからの活動にプラスしていきたいと思えます。

湯沢市消防団 後藤 綾

今回の大会では、以前より学校又は会議等で交流があつた方々が多く参加されており、一団員同士の交流から、団長を巻き込み、団全体としての交流の話に繋がるなど、和やかでありながらも活発で有意義な会であつたと思います。また、このような交流会や、毎年行われている団員教育訓練や会議等々、顔を合わせられる場の必要性を再確認した会でもありました。

参加者はこれまで最高の三、八〇〇名、千葉の見所を存分に生かした大会となっており、ミッキー、ミニ

の登場には誰よりも森田健作知事よりも大きな歓声が上がっていました。

主催者、来賓のあいさつでは、総務大臣並びに消防庁長官、日本消防協会長より、消防団員の必要性和、今後の支援においても全力を尽くすという力強いお言葉があり、その後発表された活動事例の中にありました、「予防に勝る活動なし」の言葉がとても心に残っています。

湯沢市では活動を模索中でありましたが、今後の活動基盤となり、活動自体も活性化されるのではないかと思います。大会趣旨にあるとおり、団活動を活性化させ、地域防災に繋がる非常に素晴らしい大会でした。



情報交流会の会場②

情報交流会では、序盤、バーゲンセールの如き料理解争奪戦が繰り広げられ、交流どころか亀裂が入るので

ないかと開始当初は心配になりました。ところが、中盤からは女性ならでは、コミュニケーション力と明るさで、アトラクシ
 ョン主演者
 が歌えなく
 なるほどに
 大盛況でし
 た！他県の
 方々とも名
 刺交換等さ
 せていただ
 いたので、
 これをきっかけに、交流の輪、活動
 の輪を広げていければと思います。



情報交流会の会場③

北秋田市消防団 成田 秀子

第二〇回全国女性消防団員活性化
 ちば大会への参加の際は大変お世話
 になりました。

今回は六名で参加しましたが、特
 に初めて参加した三名は、各消防団
 の活動を目の当たりにし、感動と感
 激で一杯でしたと語っております。

活動事例発表の四団体と、火災予
 防啓発劇の四団体は本当に勉強にな
 りました。私達が火災警報器の共同
 購入、普及活動で二〇〇八年婦人消
 防隊として東北や全国で発表した時
 は、スライドも使用しないで発表し
 ましたが、今は本当に素晴らしいと
 思います。

火災予防啓発劇では、どの団体も



大会当日宿舎ロビー

素晴らしいと感じましたが、中でも
 富山市消防団の水戸黄門越中編と横
 浜市泉消防団の「J K G 体操」は私
 達の心が動かされました。
 地元のイベントでは、チラシの配
 布だけではなく、消防団として団結、
 餅つこまつりや婦人芸能祭にも積極
 的に参加していると語っておられま
 した。千葉県素晴らしい会場、こ
 れまで見たことのないオープニング
 ステージ、感動だらけでした。
 五〇名が参加した大会前夜の県の
 情報交流会においては、潟上市の古
 戸さんと大仙市の草薨さんからアド
 バイスをいただきました。早速実践
 したいと思っています。全国の情報
 交流会も含めて実のある大会でし
 た。来年また佐賀大会に参加したい
 と思っています。



大会メイン会場前全員集合



情報交流会の会場⑥



情報交流会の会場⑤



情報交流会の会場④

平成二六年度消防団員指導員研修は、十一月二十九日(土)、三〇日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)で開催され、二五消防団から二八名が参加しました。

研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、住民指導・災害情報収集伝達、消防団の活性化などの座学や訓練礼式、応急手当・普通救命講



平成二六年度
消防団員指導員研修
秋田県消防学校

平成26年度 消防団員指導員研修受講者名簿

| 消 防 団 名 | 階 級 | 氏 名 |
|---------|-------|--------|
| 鹿角市 | 班 長 | 海沼 憲一 |
| 大館市 | 部 長 | 花田 寿 |
| 北秋田市 | 班 長 | 亀山 祐悦 |
| 上小阿仁村 | 班 長 | 北嶋 秀一 |
| 能代市 | 副分団長 | 戸松 博美 |
| 能代市 | 副分団長 | 安井 鉄男 |
| 八峰町 | 分 団 長 | 金平 多三夫 |
| 男鹿市 | 副分団長 | 千田 信男 |
| 潟上市 | 団 員 | 菊地 栄進 |
| 八郎潟町 | 部 長 | 戸田 正広 |
| 井川町 | 分 団 長 | 三浦 公德 |
| 秋田市 | 副 団 長 | 横山 久雄 |
| 由利本荘市 | 分 団 長 | 村上 康浩 |
| にかほ市 | 分 団 長 | 横山 功久 |
| 大仙市 | 部 長 | 西村 久広 |
| 仙北市 | 分 団 長 | 千田 幹一 |
| 美郷町 | 分 団 長 | 大坂 久男 |
| 横手市増田 | 副分団長 | 藤原 勉雄 |
| 横手市平鹿 | 副分団長 | 高橋 和浩 |
| 横手市雄物川 | 副分団長 | 最上 浩一 |
| 横手市十文字 | 副分団長 | 佐藤 幸喜 |
| 横手市山内 | 副分団長 | 高橋 幸一 |
| 横手市大雄 | 部 長 | 小田嶋 敏夫 |
| 横手市大雄 | 部 長 | 伊藤 寿人 |
| 湯沢市 | 分 団 長 | 兼藤 賢一 |
| 湯沢市 | 分 団 長 | 藤岡 俊一 |
| 羽後町 | 分 団 長 | 池田 耕一 |
| 東成瀬村 | 分 団 長 | 鈴木 清一 |

習、消防訓練・消火活動・救助活動などの実技を熱心に受講しました。

入校式で秋田県消防協会中田潤会長は、「この研修は、消防団員の指導に当たる幹部を養成することを目的に、秋田県消防協会が日本消防協会の支援を受け、また、秋田県消防学校のご協力を得て実施するものです。研修期間は二日間となっておりますが、座学と実技がうまく配分されていますので、これから団員の指導に当たられる皆様には、大変有意義な研修です。我々消防団を巡る環境は、団員の減少のほか、高齢化、サラリーマン化の進行などで、地域消防力の低下が懸念されるところで

ありますが、一方では、記録的な大雨や豪雪など自然災害の多発や災害の複雑化、多様化などで、消防の役割は益々重要となり、その分、県民の期待は大きくなっており、この度の研修を受講される皆様には、消防団員としての経験も豊富な方々であります。厳しい状況下にある消防団ではありますが、皆様の力強いリーダーシップの発揮によりまして、消防に対する住民の期待に添えていただきたいと思います。

折角の機会でもありますので、県各地域から参加された仲間との交流を深められ、実り多い研修になりますように。」とあいさつしました。

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター 立
株式会社 協

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

地域を守る「消防団協力事業所」

〓 鹿角支部 〓

総務省消防庁では平成一八年年度、被雇用者団員比率の上昇などによる消防団員数の減少を解決する対策として、「消防団協力事業所表示制度」を構築し、導入推進を図りました。

鹿角市・小坂町では、多様化する自然災害に備え、各種分野での専門知識・技術を期待し「消防団協力事業所表示制度実施要綱」を定め、平成二二年から施行しました。施行直後から各事業所の関心を得ることができ、多くの事業所から認定の申請がありました。

認定事業所では、自然災害を想定した大型重機での災害対応訓練、消防署救急隊との連携訓練を実施したほか、消防団行事への参



加や消防水利周辺の除雪作業など様々な形で消防活動に貢献しています。

昨年の豪雨災害では、消防署員・消防団員での人海戦術で対応が困難な現場に、登録している「消防団協力事業所」を要請しました。大型重機を用いての活動は訓練成果も発揮され、専門職ならではの、高度な技術で消防活動の一役を担いました。現在、鹿角支部管内には一六事業所が「消防団協力事業所」としての認定及び表示証の交付を受けており、消防団同様に地域を守る重要な存在となっております。

【情報提供〓鹿角支部】

纏振り伝承映像を制作

〓 大館市消防団 〓

大館市消防団は、伝統ある纏振りを後世まで伝承するため、基本動作を詳細に説明した「大館市消防団

纏振り伝承映像」を制作しました。完成した映像は、DVDにして各分団へ配布すると共に、YouTubeで公開しました。



【情報提供〓大館北秋田支部】

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

| | 平成26年 | | 平成25年 | | | 同期比較 | |
|---------|-------|-----|-------|-----|-----|------|------|
| | 11月 | 累計 | 11月 | 累計 | 年計 | 11月 | 累計 |
| 建 物 | 11 | 183 | 14 | 183 | 204 | - 3 | 0 |
| 林 野 | 1 | 44 | 0 | 34 | 34 | 1 | 10 |
| 車 輛 | 1 | 23 | 5 | 38 | 39 | - 4 | - 15 |
| そ の 他 | 3 | 65 | 3 | 70 | 72 | 0 | - 5 |
| 合 計 | 16 | 315 | 22 | 325 | 349 | - 6 | - 10 |
| 死 者 数 | 2 | 31 | 2 | 21 | 22 | 0 | 10 |
| 負 傷 者 数 | 0 | 51 | 3 | 62 | 66 | - 3 | - 11 |

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp